

## 第2期、2015年度の目標は、可燃ごみの20%削減を柱とする。

不燃埋立てがゼロとなったことから焼却物つまり可燃ごみの削減を中心に据えた目標とする。生ごみの発生抑制やたい肥化及び紙ごみの分別資源化を進めることにより可燃ごみの20%削減を目指す。資源化量は、EPRの推進により減少することになるが生ごみや紙ごみの資源化を進めることにより2010年度の数値が維持される。

## 2. 目標とすごみ量(1人1日当たりのごみ量)

○この削減目標から算出すると、目標とすごみ量は次のとおりとなる。

	2000年度(実績)	2010年度(実績)	2015年度(目標)
1人1日当たりのごみ・ 集団回収の合計量	971.4 g	823.6 g	706.1 g
ごみ・集団回収の合計量	25,657 t	22,431 t	19,433 t
人口推計	72,362 人	74,623 人	75,404 人

※2015(平成27)年度の人口推計は2015(平成27年)年1月1日現在の数値です。  
その他の年度は10月1日現在の人口です。

## 3. ごみ処理量の見込み

○処理方法別のごみ量は次のとおり。

	2000年度(実績)		2010年度(実績)		2015年度(見込み)		
	1人1日 当たり のごみ 量	総ごみ 量	1人1日 当たり のごみ 量	総ごみ 量	目標とする1人 1日当たり のごみ 量	目標とする 総ごみ 量	
焼却	660.6 g	17,447 t	586.3 g	15,969 t	469.0 g	12,908 t	
有害ごみ	0.9 g	25 t	0.9 g	24 t	0.7 g	19 t	
不燃埋立	43.4 g	1,146 t	0 g	0 t	0 g	0 t	
小計(資源物除く)	704.9 g	18,618 t	587.2 g	15,993 t	469.7 g	12,927 t	
資源化	266.5 g	7,039 t	236.4 g	6,438 t	236.4 g	6,506 t	
内 訳	収集・持込分	211.4 g	5,583 t	182.9 g	4,982 t	182.9 g	5,034 t
	集団回収分	55.1 g	1,456 t	53.5 g	1,456 t	53.5 g	1,472 t
合計(資源物含む)	971.4 g	25,657 t	823.6 g	22,431 t	706.1 g	19,433 t	
飛灰埋立	39.3 g	1,039 t	0 g	0 t	0 g	0 t	
人口推計	72,362 人		74,623 人		75,404 人		

(参考)

[国の削減目標]

○第2次循環型社会形成推進基本計画(2008(平成20)年3月策定)

2015(平成27)年度において、1人1日当たりの集団回収量、資源物等を除くごみ量を2000(平成12)年度比で約20%削減する。